令和５年度　栃木県立矢板東高等学校附属中学校　学校評価シート

教育目標　　高い志を抱き、次代を力強く担うリーダーの育成

本年度の重点目標
1　深い教養、高い学力の育成（学力の向上）
2　他者を思いやる心、社会貢献意欲の育成（人間性の育成）
3　心身の力強さと健やかさの育成（体力（耐力）の増進）
4　魅力ある学校づくりの推進（地域との連携強化）

達成度
A　達成・満足できた　（80%以上）
B　ほぼ達成・満足できた（60%以上~80%未満）
C　十分とは言えない（40%以上~60%未満）
D　達成できなかった（40%未満）

学　校　自　己　評　価

現状と学校評価実施計画

No	現状と課題	評価項目	具体的方策（太字ｺﾞｼｯｸは重点項目）	方策の評価指標
1	・多くの生徒が基礎的･基本的な知識･技能を習得している。今後も､主体的で深い学びを実現し、生徒の学力や意欲の向上を図る。	(1)教員の授業力の強化	**①主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。** ②中高教員の授業の相互乗り入れと研究授業を実施する。	①生徒・保護者ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②研修機会の設定と教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合
		(2)生徒の学習意欲の持続	**①学習ｻｲｸﾙを基にした学習指導の徹底とﾁｬﾚﾝｼﾞ意欲の喚起を図る。** ②ＩＣＴを活用した、分かりやすい授業と個に応じた指導を充実させる。	①生徒・保護者ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②生徒徒ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合
2	・中学３年生が中心となり、自主的・自治的な生徒会活動が行われている。中高連携をさらに推進し、生徒のリーダーシップやフォロワーシップの質を高めることが必要である。 ・ジェネリックスキルを意識した振り返りやキャリアパスポートを適切に活用し、生徒が自己の変容や成長を実感できるようにする。	(1)異年齢集団のメリットを生かした活動の推進	**①生徒会執行部と専門委員会・部活動の連携した活動を増やし、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ、ﾌｫﾛﾜｰｼｯﾌﾟの育成を図る。** ②中高連携行事において、発達の段階に応じた資質・能力を意識させて活動に取り組ませる。	①生徒・保護者ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合
		(2)ｷｬﾘｱ教育、進路指導の充実	**①進路学習を計画的に行うとともに、高校生による進路講話や体験授業等の充実を図る。** ②総合的な学習の時間を中心に、キャリア教育の視点から身に付けさせたい力の共通理解を図る。	①教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合
3	・部活動や保健体育の授業に意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、基本的な生活習慣や自分の健康・体力に対する意識の低下も見られる。 ・自己肯定感がもてず、人間関係を上手くつくれない生徒もいる。集団生活等を通して人間性の育成を図る。	(1)部活動の中高連携の推進と体力の向上	①部活動、保健体育科の更なる中高連携を推進する。 **②生徒の主体的な健康管理（維持）と体力向上を図る。**	①生徒・教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②生徒ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合
		(2)生徒とのよりよい人間関係の構築	①「ふれあいのある人間関係」と「ルールの確保」の両方がある集団づくりを進める。 **②「居場所づくり」「絆づくり」を意識した学年、学級づくりを進める。**	①生徒ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合と教育相談ｱﾝｹｰ結果 ②生徒・保護者ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合と Q-U ﾃｽﾄ結果
4	・ＨＰや各種たよりを中心に情報発信を行っている。小学生とその保護者に向けた情報発信をさらに充実させることが必要である。 ・評価結果を分析し、その後の教育活動の改善につなげることが課題である。	(1)学校情報の発信の強化	**①学校ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ･HP の内容の充実を図る。** ②学校説明会・学校公開等での説明の充実を図る。	①保護者・教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②学校説明会や学校公開の参加人数とｱﾝｹｰﾄ分析
		(2)学校評価等の改善	**①学校評価シートの内容を改善し、活用を推進する。** ②ＰＴＡ、学校評議員との連携・強化を図る。	①教員ｱﾝｹｰﾄの肯定的な回答の割合 ②保護者ｱﾝｹｰﾄの肯定的な内容の割合

達成状況と改善策

No	方策の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	①生徒の 90%、保護者の 80%が肯定的な回答をしている。 ②研修を 11 回実施し教員の授業力向上を図った。	A	引き続き教員研修の時間を確保し、授業力の向上に努める。
	①肯定的な回答が生徒は減少、保護者は増加した。 ②生徒の 85%が肯定的な回答をしている。	B	目標を立て、計画的に学習するための支援を充実させる。
2	①生徒の 70%、保護者の 75%が肯定的な回答をしている。 ②90%の教員が、中高連携を意識して指導している。	B	引き続きﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟとﾌｫﾛﾜｰｼｯﾌﾟを意識して活動を行う。さらに中高の連携の在り方を工夫する。
	①進路学習を計画的に行った教員が増加した。 ②100%の教員が進路学習やキャリア教育を意識して指導した。	A	職業や進路に関する学習のあり方について改善を図るとともに、ジェネリックスキルへの意識をさらに高める。
3	①生徒の 75%、教員 80%が肯定的な回答をしている。 ②70%以上が肯定的な回答をしている。	B	引き続き、健康管理や体力向上についての教育を充実させる。
	①自己肯定感をもてている生徒が５ﾎﾟｲﾝﾄ増加し 73.5%となっている。 ②肯定的な回答の割合は生徒、保護者ともに変化がない。	B	集団を高めながら人間関係づくりを計画的に行うとともに、教育相談や保護者との連携の充実を図る。
4	①80%以上の保護者・教員が肯定的な回答をしている。 ②学校説明会におけるｱﾝｹｰﾄは肯定的な回答が多かった。	A	外部の閲覧者や保護者を意識して、HP 等の内容を改善する。
	①教員の 90%以上が肯定的な回答をしている。 ②保護者の 80%以上が肯定的な回答をしている。	B	評価の低かった項目に重点を置いて、さらなる改善を図る。

学校関係者評価

実施日:令和６年２月 15 日

学校関係者からの評価・意見等

(1)将来の夢や目標を中学生の時期から明確に持てるような取組を増やすと学習意欲も向上すると思う。
(2) 附属中生は高校入試がないので、その時間に先を見据えた学習や探究活動を行うとよいと思う。
(3)キャリア教育について、保護者は子どもの力以上のものを求めていることもあるのではないか。生徒それぞれにあったキャリア教育を進めることが大切である。
(4)部活動において、外部指導者を活用したり、休日の地域クラブ活動を推進したりするなど、教員の働き方改革を推進して行く必要がある。
(5)自己肯定感を持てている生徒が多くいることはよい。少数であるが持てていない生徒もいるので、「居場所づくり」「絆づくり」を意識した学年、学級づくりを進めてほしい。
(6)今年度は、様々な学校行事等をコロナ前の形や新しい形で実施したことはよかった。次年度は、生徒に任せる部分を増やすなど、生徒の自主性を生かす場面を増やしてほしい。
(7)ＨＰは以前より見やすくなり内容も充実している。さらに、学校の特色である中高一貫校のよさを発信できるように工夫をしてほしい。